

式 辞

厳しい冬の寒さも和らぎ、
木々の芽吹きが感じられる今日の佳き日に、
白樺学園高等学校第六十二回入学式を挙行できますことは、
本校にとりまして、この上もない喜びであり、
関係各位に対しまして深く感謝申し上げます。

また、本日は、ご多用の中、

芽室町長 手島 旭 様

白樺学園高等学校PTA会長 工藤雅浩 様

白樺学園高等学校同窓会会長 鈴木正孝 様はじめ

多くのご来賓、並びに保護者の皆様のご臨席を賜りましたことに対しまして、
厚く御礼申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました百三十八名の新入生の皆さん、
入学おめでとうございます。

皆さんを、在校生並びに全職員を代表して心より歓迎いたします。

そして、保護者の皆様、お子さんのご入学まことにおめでとうございます。

皆さんは今、希望に胸を膨らませていることと思います。

でも、その希望を叶えてくれるのは、他のだれかではありません。

夢を実現するのはあくまでも自分であり、自らが「挑戦」して勝ち取っていく
ものです。

高校という新たなステージで、皆さんあらゆることに挑戦してみてください。

失敗することに臆してはなりません。

何事もやってみなければわからないわけですから、失敗を恐れて何もしないよ
り、挑戦して失敗するほうが、やってみただけずっとプラスになります。

そしてもし失敗したら、何が駄目だったのかを考えて、またやり直せばいいの
です。

皆さんの先輩、そして先生方も、皆さんの挑戦をサポートしてくれるでしょう。

皆さんは、1.01と0.99の法則というのをご存じですか？

1.01は、1よりわずかに大きい。

0.99は、1よりわずかに小さい。

両者の差は、たったの0.02です。

しかしながら、このわずかな差が積み重なると、大きな違いが生まれてきます。実際に、この二つを365回かけるとどうなるか。

1. 01の365乗は、37.78、

0.99の365乗は、0.026になります。

実に、1453倍。こんなにも大きな差が生じることに誰もが驚くことでしょう。

申し上げるまでもなく、365という数字は、一年間の日数です。

日々1%だけ余分に努力を続けた人と、日々1%だけ手を抜いた人とでは、一年間でここまで差がつくのです。

人生は小さな選択の積み重ねです。

その選択の一つひとつが、将来の皆さんの人生を決めることになるのです。

さて、皆さんは、1.01を選びますか？

それとも0.99を選びますか？

そこで保護者の皆様にもお願いがあります。

ご家庭で一番気をつけていただきたいことは、お子さんの生活のリズムであります。

特に、夜遅くまでスマホゲームに熱中して、朝起きられなくて遅刻してくる。遅刻ならまだしも、学校を休んで家で寝ている。

そんな昼と夜とが逆転したような怠惰な生活を送っている生徒は、必ず自分の生きる目的や将来の目標を見失い、学校を辞めていくこととなります。

ですから、ツイッターなどのSNSを含め、スマホの管理には十分気をつけていただきたいと思います。

本校の生活指導は、他の高校より厳しいと言われております。

あいさつ、服装、頭髪、女子生徒の化粧、規範意識に生活態度、そのいずれをとりにしても、皆様のお子さんを一人前の社会人として世に送り出すための必要不可欠な指導であります。

この先、おそらくお子さんからそうした厳しい指導に対する不平不満の声が耳に入ることもあると思いますが、生活指導は家庭との連携、協力無くしてはなし得ません。

どうか本校の教育方針にご理解を賜りますようお願い申し上げます。

さて新入生の皆さん、今日から高校生活の始まりです。

皆さんには、是非この三年間、生きることを学んで欲しい、心からそう願っています。

生きることを学ぶ、それは命を大切にすることです。

皆さんのこの先は、楽しいことばかりではありません。
辛いこともたくさん起こるでしょう。
でも、そこから逃げないで下さい。
すべての試練は、生きることを学んでいるのだと思えば、心に余裕もできますし、必ず手を貸してくれる人が現れるものです。
高校生活は、あっという間に過ぎてしまいます。
皆さんの先輩達が口々にそう言って卒業していきました。
その貴重な時間を無為に過ごさず、しっかりと目標を見定め、その目標に近づくための計画を立てて、そしてその計画を着実に進めていく努力を積み重ねていただきたい。
皆さんなら必ずできます。
自分自身を信じて下さい。
私も皆さんを信じています。

結びに、新入生の皆さんの高校生活が、有意義で楽しく、充実したものとなりますよう心から祈念申し上げ式辞といたします。

平成三十一年四月十日

白樺学園高等学校

校長 嶋野 幸也